

令和 4 年度 国語科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 指定教科書

国語	1年	教科書名（出版社）	現代の国語 1（三省堂）中学書写一・二・三年（光村図書）
		副教材	学習漢字ノート一年（浜島書店） 積み上げ（明治図書） すらすら基本文法（浜島書店）中学硬筆練習帳一・二・三年（光村図書）

3 学習到達目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。【知識・技能】
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。【思考力・表現力・判断力】
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・教科書を活用し、生徒との対話形式で進めていく。

○思考力・判断力・表現力の高め方

- ・自分の考えや感想を言葉にして表現する機会（話し合い活動・発表）を多くもつ。

○望ましい家庭学習

- ・日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、友人や家族と会話をする中で、使える言葉の数を増やす。
- ・e ライブラリを活用して復習をする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…定期考査前に学習教室の実施
- ・タブレットの活用…e ライブラリを活用して学習（予習・復習）を進める。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
一学期	<p>朝のリレー【読む(詩)】(2)</p> <p>竜【読む(物語)】(4)</p> <p>グループディスカッション 話題や展開にそって話し合い をつなげる【話す・聞く】(4)</p> <p>言葉発見①音声のしくみとは たらき(1)</p> <p>漢字を身につけよう①(1)</p> <p>読み方を学ぼう① 説明文の 基本構造 ペンギンの防寒着(1) クジラの飲み水【読む(説明)】 (1)</p> <p>漢字のしくみ 1 活字と手書き文字・画数・筆順 (1)</p> <p>レポート 調べたことを整理してわかり やすくまとめる【書く】(5)</p> <p>言葉発見② 話し言葉と書き言葉(1)</p> <p>漢字を身につけよう②(1)</p> <p>空中ブランコ乗りのキキ【読 む(物語)】 読み方を学ぼう② 人物相関 図(4)</p> <p>文法の窓 1 文法のまとめ 言葉の単位・文節の関係(3)</p> <p>字のない葉書【読む(随筆)】 読み方を学ぼう③ 行動描写 (3)</p> <p>漢字のしくみ 2 部首と成り 立ち(1)</p> <p>随筆 体験に向き合い意味づける 【書く】(4)</p>	<p><b>知・技</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。( (1)ウ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C工)</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(Cオ)</p> <p><b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、使っている。( (2)イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</p> <p>②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C工)</p> <p><b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。( (2)イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(A工)</p> <p>②「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ)</p> <p><b>知・技</b> ・音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。( (1)ア)</p> <p><b>知・技</b> 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1)ウ)</p> <p><b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。( (2)イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)</p> <p>②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C工)</p> <p><b>知・技</b> ①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。( (1)イ)</p> <p>②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1)ウ)</p> <p><b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。( (2)イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>②「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ)</p> <p><b>知・技</b> ①音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。( (1)ア)</p> <p>②常用漢字(300字~400字)を読んでいる。( (1)イ)</p> <p>③事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1)ウ)</p> <p><b>知・技</b> 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1)ウ)</p> <p><b>知・技</b> ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。( (2)ア)</p> <p>②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。( (2)イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(Cオ)</p> <p><b>知・技</b> ・単語の類別について理解している。( (1)エ)</p> <p><b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。( (2)イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</p> <p>②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</p> <p><b>知・技</b></p>	<p>&lt;知識・技能&gt; ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック &lt;思考力・表現力・判断力&gt; ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック &lt;主体的に学習に取り組む態度&gt; ・行動記録(学習カード等) ・提出物</p>

	<p>私の読書体験 本を読むことのおもしろさ (2)</p> <p>漢字を身につけよう③(1)</p> <p>書写(6)</p>	<p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1) ウ)</p> <p><b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。( (2) イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。( Bア)</p> <p>②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。( Bオ)</p> <p><b>知・技</b> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。( (3) オ)</p> <p><b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。( Cオ)</p> <p><b>知・技</b> 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1) ウ)</p>	
<p>二 学 期</p>	<p>玄関扉【読む(説明)】(4) 読み方を学ぼう④ 三角ロジック(4)</p> <p>言葉発見③ 接続する語句・指示する語句(1)</p> <p>スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える【話す・聞く】(5)</p> <p>漢字を身につけよう④(1)</p> <p>月を思う心【読む(解説)】(1)</p> <p>竹取物語【読む(古文)】 古文の読み方 古典の仮名遣い(4)</p> <p>表現ブラザ 変わり身の上話【書く】(2)</p> <p>故事成語——矛盾【読む(漢文)】 漢文の読み方 訓読の仕方(3時間)</p> <p>漢字のしくみ 3 漢字の音と訓(1)</p> <p>漢字を身につけよう⑤(1)</p> <p>複数の情報を関連づけて考えをまとめる【情報】</p> <p>防災に関するデータ【読む(図表)】</p> <p>「みんなているから大丈夫」の怖さ</p>	<p><b>知・技</b> ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。( (2) ア)</p> <p>②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。( (2) イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。( Cア)</p> <p>②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。( Cエ)</p> <p>③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして考えている。( Cオ)</p> <p><b>知・技</b>②指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。( (1) エ)</p> <p><b>知・技</b>・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。( (2) ア)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決めている。( Aア)</p> <p>②「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。( Aイ)</p> <p>③「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。( Aウ)</p> <p><b>知・技</b>②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1) ウ)</p> <p><b>知・技</b>・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。( (3) イ)</p> <p><b>思・判・表</b>・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。( Cア)</p> <p><b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。( (3) ア)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。( Cイ)</p> <p>②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。( Cウ)</p> <p>③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして考えている。( Cオ)</p> <p><b>知・技</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。( (1) ウ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。( Bア)</p> <p>②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。( Bオ)</p> <p><b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。( (3) ア)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。( Cエ)</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。( Cオ)</p> <p><b>知・技</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1) ウ)</p> <p><b>知・技</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増している。( (1) ウ)</p>	

<p>【読む(記録)】話す・聞く(2)、読む(3)</p> <p>行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える 【書く】(4)</p> <p>文法の窓 2 文法のまとめ 単語の類別・品詞(3)</p> <p>漢字を身につけよう⑥(1)</p> <p>それだけでいい【読む(詩)】 読み方を学ぼう⑥ 詩の表現技法(2)</p> <p>言葉発見④ 比喩・倒置・反復・対句・体言止め(1)</p> <p>詩 思いや発見をリズムに乗せる 【書く】(4)</p> <p>トロッコ 【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑥ 情景描写(5)</p> <p>読書活動 ブッククラブ【話す・聞く】(2)</p> <p>漢字を身につけよう⑦(1)</p> <p>書写(8)</p>	<p>知・技①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(A才)</p> <p>②「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)</p> <p>③「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>④「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</p> <p>知・技</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</p> <p>知・技</p> <p>・単語の類別について理解している。(1)エ)</p> <p>知・技</p> <p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)</p> <p>知・技</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</p> <p>知・技</p> <p>①事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>②比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)</p> <p>知・技</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア)</p> <p>②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</p> <p>知・技</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</p> <p>②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>③「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</p> <p>知・技</p> <p>①引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>②読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>思・判・表</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ)</p> <p>知・技</p> <p>①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。(1)イ)</p> <p>②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)</p>	
<p>意味と意図 ——コミュニケーションを 考える【読む(説明)】 読み方を学ぼう⑦ 要約(4)</p> <p>書写(6)</p> <p>言葉発見⑤ 方言と共通語(1)</p> <p>意見文 根拠を明確にして考えを述べる【書く】(6)</p>	<p>知・技</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ)</p> <p>知・技</p> <p>①事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)</p> <p>②共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ)</p>	

<p>漢字を身につけよう⑧(1)</p> <p>少年の日の思い出 【読む(小説)】 読み方を学ぼう③ 語り手・ 視点(5)</p> <p>漢字を身につけよう⑨(1)</p> <p>グループ新聞 一年間の自分とクラスを 振り返って 【話す・聞く】(3)【書く】(5)</p> <p>歌の言葉 栄光の架橋</p>	<p><b>知・扱</b> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ) ②「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ③「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)</p> <p><b>知・扱</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)</p> <p><b>知・扱</b> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ)</p> <p><b>知・扱</b> 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)</p> <p><b>知・扱</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p><b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ) ③「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ④「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</p>
--	---

令和4年度 社会科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

我が国の国土及び世界の諸地域に対する関心を高め、自分で調べたことや資料に基づき多面的・多角的に考察する力を養う。また、我が国の歴史についての大きな流れをつかみ、時代の繋がりを捉えながら学習する。

2 指定教科書

社会	1年	教科書名 (出版社)	中学生の地理 (帝国書院) 中学社会 歴史 (教育出版)
		副教材	歴史資料集 (新学社) 地理資料集 世界 (新学社) 基礎の強化 社会1年 (新学社)

3 学習到達目標

- ・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に広い視野で物事を考えられる力を養う。
- ・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解する。
- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解する。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する。

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・導入として、単元に関連する視覚教材や映像資料、身近な話題などを活用し、学習のイメージがわくようにする。

○思考力・判断力・表現力の高め方

- ・問いや課題に対して、資料やグラフ、既習の内容を活用して考えることが大切である。
- ・自分の考えや導きだした答えを伝えたり、答えを導き出す過程で他の意見を聞いたりしながら理解を深める。

○望ましい家庭学習

歴史的分野では語句を理解することも大切だが、大きな流れをつかみながら学習すると、より理解が深まる。地理的分野では、私たちが使用する物や食料などがどこで製造されているのかなどにも視野を広げられるとよい。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・本年度はワークを活用し、学習内容の確認や振り返りができるようにする。
- ・クロームブックにインストールされているeライブラリの問題を活用し、基礎固めをする。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期	<p>第 1 部 世界と日本の地域構成</p> <p>第 1 章 世界の姿(6)</p> <p>1 私たちの住む地球を眺めて</p> <p>2 色々な国の国名とー</p> <p>3 緯度と経度</p> <p>4 地球儀と世界地図の違い</p> <p>第 2 章 日本の姿(6)</p> <p>1 世界の中での日本の位置</p> <p>2 時差でとらえる日本の位置</p> <p>3 日本の領域とその特色</p> <p>4 都道府県と県庁所在地</p> <p>第 2 部 世界のさまざまな地域</p> <p>第 1 章 人々の生活と環境(10)</p> <p>1 世界のさまざまな生活と環境</p> <p>2 熱い地域の暮らし</p> <p>3 乾燥した地域の暮らし</p> <p>4 温暖な地域の暮らし</p> <p>5 寒い地域の暮らし</p> <p>6 高地の暮らし</p> <p>7 世界各地の衣食住とその変化</p> <p>8 人々の生活と宗教の関り</p> <p>第 2 章 世界の諸地域</p> <p>第 4 節 北アメリカ州(8)</p> <p>第 6 節 オセアニア州(6)</p>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <p>緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などをもとに世界の地域構成を理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>世界の地域構成の特色を大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <p>我が国の国土の位置、世界各地と時差、領域の範囲や変化とその特色などをもとに、日本の地域構成を理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <p>人々の生活や自然及び社会的条件から影響を受けたり、与えたりすることを理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>世界各地における人々の生活やその変容をもとに、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>人々の生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <p>多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業がおこなわれていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子をもとに、多面的・多角的に考察している。</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <p>自然環境の影響と、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、オセアニア州とアジア州の深い関係を資料をもとに理解する。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・プリント</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・プリント</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul>
	<p>【歴史的分野】</p> <p>第 1 章 歴史のとらえ方・調べ方</p> <p>1 節 私たちと歴史(4)</p> <p>2 節 身近な地域と歴史(4)</p>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <p>小学校の歴史学習を振り返り、人物が活躍した大まかな年代や、同じころの建造物について理解している。時代区分の方法や年表をもとに基本的事項を理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>年表に人物や建造物をあてはめる活動を通して、時代の移り変わりについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <p>小学校での学習を踏まえてテーマを決定し、集めた情報を班で持ち寄り、資料や情報を整理する。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>調べるテーマについて多面的・多角的に考察し、表現している。意見交換を通して、自分の調べた内容をより深く考察している。</p>	

	<p>第2章 原・古代の日本と世界 1節 人類の出現と文明のおこり(6) ①グレートジャーニー ②エジプトはナイルの賜物 ③大帝国の出現と交流 ④すべての道はローマに通ず ⑤宗教の誕生</p>	<p>&lt;知識・技能&gt; 世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 &lt;思考・判断・表現&gt; 古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
<p>2学期</p>	<p>2節 日本の成り立ちと倭の王様(4) ⑥日本列島のあけぼの ⑦楽浪の海中に倭人あり ⑧東アジア中野大和王権 3節 大帝国の出現と律令国家の形成(4) ⑨広がる国際交流 ⑩あつく三宝を敬え ⑪律令国家への歩み  4節 貴族社会の発展(5) ⑫木簡と計帳は語る ⑬シルクロードにつながる道 ⑭望月の欠けたることもなしと思えば ⑮「伊呂波」から「いろは」へ 第3章 中世の日本と世界 第1節 武家政治の始まり(7) ①武士の誕生 ②貴族から武士へ ③いざ鎌倉 ④弓馬の道 ⑤祇園精舎の鐘の声  第2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化(7) ⑥大陸をまたぐモンゴル帝国 ⑦海から押し寄せる元軍 ⑧このごと宮古にはやるもの ⑨行き交う海賊船と貿易船 ⑩北と南で開かれた交易</p>	<p>&lt;知識・技能&gt; 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関りなどをもとに、諸資料から、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 &lt;思考・判断・表現&gt; 農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、生活の変化や大和政権による統一と東アジアとの関りについて、多面的・多角的に考察し表現している。 &lt;知識・技能&gt; 律令国家の確立に至るまでの過程・摂関政治などをもとに、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 &lt;思考・判断・表現&gt; 東アジアとの接触や交流と政治の文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、東アジアの動きが政治に与えた影響などについて、多面的・多角的に考察している。 &lt;知識・技能&gt; 仏教の伝来とその影響、かな文字の成立などをもとに、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 &lt;思考・判断・表現&gt; 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、都の貴族や地方の農民の暮らし摂関政治と天平・国風文化の特色について、多面的・多角的に考察し表現している。 &lt;知識・技能&gt; 鎌倉幕府の成立、鎌倉時代の文化や仏教などをもとに武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。 &lt;思考・判断・表現&gt; 武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察し表現している。 &lt;知識・技能&gt; 元軍の襲来がユーラシアの変化の中で起こったことや、武家政治への進出と展開とともに、東アジア世界との密接な関りが見られたことを理解している。 &lt;思考・判断・表現&gt; この時代の武家政治の動きとその特徴や、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
	<p>第5節 南アメリカ州(6)</p>	<p>&lt;知識・技能&gt; 多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成し経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解する。また、ブラジルでは経済発展が進む一方経済格差などの問題が生じていることを理解する。 &lt;思考・判断・表現&gt; ブラジルの経済成長の要因と、それとともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。</p>	

<p>3学期</p>	<p>第3節 アフリカ州(6) 第2節 ヨーロッパ州(8) 第1節 アジア州(9)</p>	<p>&lt;知識・技能&gt; アフリカ州の人々の生活や産業の特色を、歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt; 一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源に頼るようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>&lt;知識・技能&gt; ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt; EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>&lt;知識・技能&gt; アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展による様々な影響を整理し、アジア州全体の地域的特色や課題を理解している。</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt; 人口増加と急激な経済発展を取り上げ、アジア州に暮らす人々に与え影響やそれによって生じる課題を主体的に追求し解決しようとしている。</p>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・プリント</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・プリント</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul>
------------	---	--	---

令和4年度 数学科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

数量や図形などについての基礎的な概念を理解し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2 指定教科書

数学	1年	教科書名（出版社）	これからの数学1（数研出版）
		副教材	数学の学習ノート（正進社）

3 学習到達目標

- ・正負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。【知識・技能】
- ・拡張した範囲の数の性質や計算について考察する力、文字を用いて数量の関係や法則を表現する力、図形の構成要素や構成に着目して図形の性質や関係を直感的にとらえる力、2つの数量の変化から関数関係を見出してその特徴を式・表・グラフで表す力、データの分布を考察して集団の傾向を読み取る力、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付ける。【思考力・表現力・判断力】
- ・数学的活動の楽しさや良さを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、より良く問題解決しようとする態度を身に付ける。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・教科書に沿って講義形式で進めていく。

○思考力・判断力・表現力の高め方

- ・問題演習の際に、周囲と教え合い活動をして自分の考えを整理する。
- ・解答の別解を考えてみる。

○望ましい家庭学習

- ・予習 教科書を読み進める、副教材やeライブラリを解き進める。
- ・復習 授業で扱った問題をもう一度解いてみる、副教材やeライブラリを解きなおす。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…章や単元の区切りに演習プリントを配布や質問教室の実施
- ・タブレットの活用…授業で扱ったスライドやプリントの資料をクラウド上に保管し、復習に活用する。  
eライブラリを活用して自己学習（発展、補充）を進める。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	<p>1 正の数と負の数（25）</p> <p>○正の数と負の数（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・符号のついた数</li> <li>・数の大小</li> </ul> <p>○加法と減法（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法</li> <li>・減法</li> <li>・加法と減法の混じった式</li> </ul> <p>○乗法と除法（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法</li> <li>・除法</li> </ul> <p>○いろいろな計算（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四則</li> <li>・素因数分解</li> <li>・正の数、負の数の利用</li> </ul> <p>○章末（2）</p> <p>2 文字と式（19）</p> <p>○文字と式（8）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を使った式</li> <li>・文字式の表し方</li> <li>・いろいろな数量の表し方</li> <li>・式の値</li> </ul> <p>○文字式の計算（6）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次式の加法、減法</li> <li>・1次式と数の乗法、除法</li> </ul> <p>○文字式の利用（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字式の利用</li> <li>・関係を表す式</li> </ul> <p>○章末（2）</p>	<p>1 正の数と負の数</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正の数と負の数の必要性和意味を理解し、基準とのちがいや反対の性質をもつ数量を、符号のついた数で表すことができる。</li> <li>・正の数と負の数を数直線上に表すことができ、絶対値や数の大小を求めることができる。</li> <li>・正の数と負の数の四則計算の方法を理解し、その計算ができる。</li> <li>・加法と乗法において交換法則と結合法則が成り立つことを理解し、法則を利用した計算ができる</li> <li>・四則の混じった式の計算順序を理解し、その計算ができる。</li> <li>・正の数と負の数の計算において分配法則が成り立つことを理解し、法則を利用した計算ができる。</li> <li>・自然数を素因数分解することができる。</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法と減法を統一的にみて、加法と減法の混じった式を正の項や負の項の和として捉えることができる。</li> <li>・乗法と除法を統一的にみて、逆数を用いて除法を乗法の計算と捉えることができる</li> <li>・数の集合とその集合における四則計算の可能性について捉え直すことができる。</li> <li>・自然数を素因数分解して約数や倍数を求めることができる。</li> <li>・正の数と負の数を利用して問題を解くことができる</li> </ul> <p>2 文字と式</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いることの必要性和意味を理解し、文字式の表し方にしたがって文字式を表すことができる。</li> <li>・文字を用いた式の文字にいろいろな数を代入して式の値を求めることができる。</li> <li>・1次式の計算方法を理解し、その計算ができる。</li> <li>・数量の関係を等式や不等式で表すことができる。</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字式から数量の関係を読み取ることができる。</li> <li>・等式や不等式から数量の関係を読み取ることができる。</li> <li>・文字式を利用して数量の関係や法則を説明することができる。</li> </ul>	<p>1 正の数と負の数</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動記録</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>2 文字と式</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動記録</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul>
2 学期	<p>3 1次方程式（15）</p> <p>○1次方程式（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式とその解</li> <li>・等式の性質</li> <li>・比例式</li> </ul> <p>○1次方程式の利用（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次方程式の利用</li> </ul> <p>○章末（2）</p> <p>4 比例と反比例（19）</p> <p>○比例（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数</li> <li>・比例</li> </ul>	<p>3 1次方程式</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式とその解の意味を理解し、等式の性質や移項を用いて、基本的な1次方程式を解くことができる。</li> <li>・比例式の性質を理解し、それを用いて比例式を解くことができる。</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式変形の過程を考察し、方程式を解く手順を説明することができる。</li> <li>・方程式や比例式を利用して問題を解くことができる。</li> </ul> <p>4 比例と反比例</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数、変数、変域の意味を理解することができる。</li> <li>・座標平面上の点の位置を読み取ったり、座標として表</li> </ul>	<p>3 1次方程式</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動記録・レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>4 比例と反比例</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標</li> <li>・比例のグラフ</li> <li>○反比例（5）</li> <li>・反比例</li> <li>・反比例のグラフ</li> <li>○比例と反比例の利用（3）</li> <li>・比例と反比例の利用</li> <li>○章末（2）</li>   <li>5 平面図形（15）</li> <li>○平面図形（6）</li> <li>・平面上の直線</li> <li>・図形の移動</li> <li>○作図（5）</li> <li>・作図の基本</li> <li>○円（2）</li> <li>・円</li> <li>○章末（2）</li> </ul>	<p>したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例と反比例の特徴を理解し、比例や反比例の関係を式や表、グラフに表すことができる。</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事象から関数関係を見いだすことができる</li> <li>・比例と反比例について、表・式、グラフを相互に関連付けて問題を解くことができる。</li> <li>・具体的な事象を比例、反比例とみなし、式、表、グラフを利用して問題を解決することができる。</li> </ul> <p>5 平面図形</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記号を用いて、点や直線の関係、角を表すことができる。</li> <li>・平行移動、対称移動、回転移動の意味と性質を理解し、移動の作図をすることができる。</li> <li>・垂直二等分線、角の二等分線、垂線の作図方法を理解し、基本的な作図の問題を解くことができる。</li> <li>・弧と弦、接線など円に関する基本的な語句の意味を理解している。</li> <li>・<math>\pi</math>の意味を理解し、<math>\pi</math>を用いて円の周や面積を求めることができる。</li> </ul>	<p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動記録</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>5 平面図形</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動記録・レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul>
<p>3学期</p> <p>6 空間図形（19）</p> <p>○空間図形（8）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな立体</li> <li>・空間における平面と直線</li> <li>・立体のいろいろな見方</li> </ul> <p>○立体の体積と表面積（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立体の体積</li> <li>・立体の展開図</li> <li>・おうぎ形の計量</li> <li>・立体の表面積</li> <li>・球の体積と表面積</li> </ul> <p>○章末（2）</p>	<p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動前と移動後の図形について、どのような移動を組み合わせて移動したか説明することができる。</li> <li>・基本的な作図の方法を組み合わせて問題を解決することができる。</li> </ul> <p>6 空間図形</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面体、角錐、円柱、円錐の意味やそれらの特徴を理解している。</li> <li>・空間における直線や平面の位置関係を理解している。</li> <li>・角柱、円柱、角錐、円錐の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。</li> <li>・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> <li>・球の体積や表面積を求めることができる。</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成要素に着目して立体の特徴を考察し、多面的に立体を分類することができる。</li> <li>・空間における直線や平面の位置関係について、身の回りのもので考察し、その関係を説明することができる。</li> <li>・投影図で立体を考察し、立体が平面をどのように動かしてできた立体か説明することができる。</li> <li>・おうぎ形と同じ半径の円が比例の関係であることを活用し、中心角や弧の長さ、面積を求めることができる。</li> <li>・回転体や複雑な形の立体図形の表面積や体積を求めることができる。</li> </ul>	<p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動前と移動後の図形について、どのような移動を組み合わせて移動したか説明することができる。</li> <li>・基本的な作図の方法を組み合わせて問題を解決することができる。</li> </ul> <p>6 空間図形</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動記録</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul>

	<p>7 データの活用 (11)</p> <p>○データの整理とその活用 (8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・度数の分布とヒストグラム</li> <li>・データの比較</li> <li>・累積度数</li> </ul> <p>○確率 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことがらの起こりやすさ</li> </ul> <p>○章末 (1)</p>	<p>7 データの活用</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムの必要性和意味、それに関する語句の意味を理解している。</li> <li>・データを表やグラフに整理することができる。</li> <li>・相対度数や累積度数の必要性和意味を理解している。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを分析して分布を読み取り、集団の傾向を説明することができる。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、事象の起こりやすさの傾向を読み取ることができる。</li> </ul>	<p>7 データの活用</p> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul> <p>&lt;思考力・表現力・判断力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動記録</li> <li>・レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動記録</li> <li>・提出物</li> <li>・レポート</li> </ul>
--	---	---	---

令和 4 年度 理科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 指定教科書

理科	1年	教科書名（出版社）	新しい科学 1
		副教材	理科の自主学习 1年、理科ノート 1年、理科便覧

3 学習到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

- ・ 1 単位時間ごとのねらいや学習活動を明確にして進める。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・ 質問について問題や課題なども含めて、自分の考え（仮の答えをもつ）ということ意識させる。
- ・ レポートなど、書き方がわからない場合は、参考になるものを「まず見る」という習慣を身に付けさせる。

○望ましい家庭学習

理科の家庭学習は復習を中心に学習させる。第 1 学年の理科では、知識として覚えるべきことが数多くあり、授業中に何となくわかったつもりでいても、後に思い出せないことはよくある。その日の授業で学習したこと、特に記号や公式を利用した計算の方法など、授業でのノートを参考に、その日のうちに見直し、学習した内容を整理することが望ましい。また復習の一環として、e ライブラリ等を活用し、何度も解く練習をすると良い。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・ 補充学習…章や単元の区切りに演習プリントを配布 定期考査前に質問教室の実施
- ・ タブレットの活用…e ライブラリを活用して自己学習（補充）を進める。



<p>1 学期 2 学期</p>	<p>単元2 身の回りの物質</p> <p>第1章 身のまわりの物質とその性質(7)</p> <p>第2章 気体の性質(5)</p> <p>第3章 水溶液の性質(7)</p> <p>第4章 物質の姿と状態変化(7)</p>	<p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>物質のすがたについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>物質のすがたについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>水溶液について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>状態変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p>	<p>○定期テストでの観点別の得点</p> <p>○観察・実験の技能、および取組状況</p> <p>○観察・実験のレポートへの記述内容</p> <p>○(授業中の)課題に対する取組状況</p> <p>○授業への取組状況</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○観察・実験における仮設定</p> <p>○観察・実験への取組状況</p> <p>(授業中の)課題に対する取組状況</p> <p>○授業への取組状況</p>
	<p>単元3 身近な物理現象</p> <p>第1章 光の世界(11)</p> <p>第2章 音の世界(6)</p> <p>第3章 力の世界(9)</p>	<p>光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>光について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>音について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の関係性や規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>力のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p>	

<p>3学期</p>	<p>単元4 大地の成り立ちと変化</p> <p>導入観察 身近な地形や地層, 岩石の観察(2)</p> <p>第1章 火をふく大地(7)</p> <p>第3章 地層から読みとる大地の変化(10)</p> <p>単元4 大地の成り立ちと変化</p> <p>第2章 動き続ける大地(7)</p>	<p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら, 身近な地形や地層, 岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら, 火山活動と火成岩, 自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら, 地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>身近な地形や地層, 岩石の観察について, 問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, 地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。(思)</p> <p>火山, 自然のめぐみと火山災害について, 問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, 地下のマグマの性質と火山の形との関係性, 自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。(思)</p> <p>地層の重なりと過去のようすについて, 問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, 地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。(思)</p> <p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら, 地震の伝わり方と地球内部のはたらき, 地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている(知)</p> <p>地震, 地震災害について, 問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, 地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性, 地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。(思)</p>	<p>○定期テストでの観点別の得点</p> <p>○観察・実験の技能、および取組状況</p> <p>○観察・実験のレポートへの記述内容</p> <p>○(授業中の)課題に対する取組状況</p> <p>○授業への取組状況</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○観察・実験における仮設設定</p> <p>○観察・実験への取組状況</p> <p>(授業中の)課題に対する取組状況</p> <p>○授業への取組状況</p>
------------	--	--	---

令和 4 年度 音楽科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について、創意工夫を生かした実践的・体験的な活動を通して音楽に親しむとともに、よりよい音楽表現に必要な知識、技能を身に付ける。

2 指定教科書

音楽	1年	教科書名 (出版社)	中学生の音楽 1 (教育芸術社) 音楽のおくりもの (教育出版)
		副教材	ミュージックノート (正進社) コーラスフェスティバル (正進社)

3 学習到達目標

- ・音楽の素材としての音を知覚し、音楽活動を通して、音が音楽を構成していることを理解、表現する。
- ・より良い音楽表現に必要な要素やその活用方法を考え、表現する。
- ・歌唱、器楽、創作活動を通して、より良い音楽表現に必要な技能を身に付ける。
- ・音楽を鑑賞し、その音楽がもつ背景や特徴と音楽的要素を関連付けて批評する。

4 学習の進め方

○授業の進め方

教科書、ワークシートを用いて実践的・体験的な活動を中心に行うとともに振り返りなどを記録に残す。

○思考力・判断力・表現力

表現活動と思考活動のサイクル学習と話し合い活動による協働的な学習の両面で行う。

○望ましい家庭学習

授業で学習した内容を日頃の生活の中で親しむ音楽を関連付けて鑑賞したり、表現したりする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 表現活動、鑑賞活動の際に活用する。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	<p>ガイダンス（1）</p> <p>「校歌」（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム、音程、歌詞</li> <li>・拍子、楽譜の読み方①</li> <li>・指揮について</li> </ul> <p>「様々な楽器と音色」（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の種類と音色</li> </ul> <p>「動物の謝肉祭」（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージと音楽的要素の関わり</li> </ul>	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽的要素のはたらきについて理解している。</li> <li>・楽譜に書かれているリズム、音程を正しく理解している。</li> <li>・楽譜に書かれているリズムを正しく打つことができる。</li> <li>・拍子について正しく理解し、3拍子、4拍子の指揮を振ることができる。</li> <li>・様々な楽器について、その特徴を理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲と楽譜に書かれている音楽的要素を関連づけて聴くことができる。</li> <li>・より良い音楽表現を自ら工夫し、様々な形式で表現することができる。</li> <li>・音楽がもつ雰囲気を知覚し、その雰囲気と音楽的要素の関わりを自ら考えて伝えることができる。</li> </ul>	<p>〈知識・技能〉</p> <p>ワークシート 定期考査 実技発表</p> <p>〈思考力・表現力・判断力〉</p> <p>ワークシート 定期考査</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>ワークシート 実技発表 授業観察</p>
2 学期	<p>「リズム創作」（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の書き方</li> <li>・リズム構成の理解</li> <li>・リズム表現</li> </ul> <p>「赤とんぼ」（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩と音楽の関わり</li> <li>・日本文化と音楽</li> </ul> <p>「歌曲 魔王」（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情と音楽の関わり</li> <li>・ドイツ歌曲（リート）について</li> </ul> <p>「合唱で表現しよう①」（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢、発声、発音の理解と実践</li> </ul>	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽的要素のはたらきについて理解している。</li> <li>・楽譜に書かれているリズム、音程を正しく理解している。</li> <li>・楽譜に書かれているリズムを正しく打つことができる。</li> <li>・与えられた条件にしたがって、正しくリズムを創作することができる。</li> <li>・授業で学習した日本の音楽文化の背景やドイツ歌曲の特徴などを理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲と楽譜に書かれている音楽的要素を関連づけて聴くことができる。</li> <li>・より良い音楽表現を自ら工夫し、様々な形式で表現することができる。</li> <li>・音楽がもつ雰囲気を知覚し、その雰囲気と音楽的要素の関わりを自ら考えて伝えることができる。</li> <li>・日本語の抑揚と音楽を関連づけて聴くことができる。</li> </ul>	
3 学期	<p>「合唱で表現しよう②」（11）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢と発声、発音</li> <li>・響きとハーモニー</li> <li>・楽譜の読み方②</li> <li>・合唱表現の充実</li> </ul>	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽的要素のはたらきについて理解している。</li> <li>・楽譜に書かれているリズム、音程、ハーモニーを正しく理解している。</li> <li>・楽譜に書かれているリズム、音程、ハーモニーを正しく表現することができる。</li> <li>・よりよい合唱にふさわしいフォームを理解し、実践することができる。</li> <li>・よりよい合唱表現にふさわしい技能を身に付けている。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲と楽譜に書かれている音楽的要素を関連づけて聴くことができる。</li> <li>・より良い音楽表現を自ら工夫し、様々な形式で表現することができる。</li> <li>・音楽がもつ雰囲気を知覚し、その雰囲気と音楽的要素の関わりを自ら考えて伝えることができる。</li> <li>・よりよい合唱表現にするために必要な要素を考え、実践しようとしている。</li> </ul>	

令和4年度 美術科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

美術作品や文化遺産など美しさや良さを感じ取ったり、制作の喜びを味わったりすることによって自分自身の生活を豊かにできる力を養う。

2 指定教科書

美術	1年	教科書名（出版社）	日本文教出版
		副教材	美術の表現と鑑賞〈資料集〉(秀学社) レタリング辞典(秀学社) スケッチブック・アクリルガッシュセット(ひかり工芸)

3 学習到達目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。
- ・主題に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的な美しさやよさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができるようにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・主体的に描いたりつくったりする表現の幅広い活動を通して、思考力や判断力を育成する。
- ・自分の見方や感じ方を大切にしながら主体的に造形的なよさや美しさなどを感じ取り味わう鑑賞の能力を養うことで表現力を育成する。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・わからないことが質問できるような環境をつくり個別に対応する。また、昼休みや放課後などに補習授業を行う。
- ・鑑賞の授業では、名画や名作をより鮮明に映し出せるタブレットを用いて説明する。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期          2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション「新生物発見」(1)</li> <li>・素描「光と影」(8)</li> <li>・色相環</li> <li>・グラデーション</li> <li>・溝引きの練習</li> <li>・漢字の基本書体</li> <li>・ユーモアレタリング(5)</li> <li>・ポスター制作</li> <li>・アートグラス</li> <li>・彫刻刀の使い方(18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ガイダンス</li> <li>・身近な筆記用具の鉛筆で、もののかたちや明暗を表すことができることを理解する。</li> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</li> <li>・色の三要素を理解する。</li> <li>・ポスターカラーの使い方を理解し、活用できる。</li> <li>・明朝体・ゴシック体の違いを理解する。</li> <li>・創造的な文字を創ることができる。</li> <li>・意図に沿った資格伝達デザインができる。</li> <li>・創造的なイラストレーションを絵画の基本と素材を意識した作品制作を行うことができる。</li> <li>・造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えると、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</li> </ul>	<p>「知識・技能」 ワークシート、テスト、作品</p> <p>「思考・判断・表現」 作品</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 観察、テスト、準備、片付け、忘れ物、提出期限</p>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木彫額</li> <li>・ダブルイラストレーション(12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の特徴を捉え使い、デザインにあった掘り方をすることができる。</li> <li>・木彫制作の素材や用具の特徴を捉え、表現できる。</li> <li>・生活を豊かにするデザインを考えることができる。</li> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活度に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>「知識・技能」 ワークシート、テスト、作品</p> <p>「思考・判断・表現」 作品</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 観察、テスト、準備、片付け、忘れ物、提出期限</p>

令和4年度 保健体育科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・各種目の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに基本的な技能を身に付ける
- ・運動や健康について課題を発見し解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- ・生涯運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく、豊かな生活を営む態度を養う。

2 指定教科書

保健体育	1年	教科書名（出版社）	中学校保健体育（大日本図書）
		副教材	中学保健学習ノート1～3年（正進社）

3 学習到達目標

- ・運動の特性や魅力、安全な行い方や体力の必要性などの知識を基に、心と体の健康増進に向けて基本的な技能を身に付けることができる。
- ・自己の課題や解決策を考え判断し、他者に伝えることができる。
- ・競争や協働の経験を通して、公正に取り組むこと、互いに協力すること、自己の役割を果たすこと、お互いを認めることへの意欲と健康・安全に留意して最善を尽くすことができる。

4 学習の進め方

- ・授業規律（集合、整列、号令）などを大切にし、集団での行動を常に意識し、授業に取り組む。
- ・人と比べることではなく、以前の自分より「できる」ことを目的とする。
- ・自分と周りの安全に配慮する。
- ・思考力・判断力・表現力を高めるには、グループ学習やペア学習などによる話し合い活動を積極的に取り組む。また学習カードによる授業の振り返りや技能の考察を丁寧に継続する。さらに新聞、レポート、スピーチ、意見発表などによる表現活動を丁寧かつ、堂々とする。
- ・家庭学習の進め方については定期テスト前には、学習カードや保健授業を振り返り、各種目、各単元のルールやポイントを復習する。事前に与えられた自習課題を確実にやり、知識を得た上で授業に臨むようにする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

補充学習については、単元の区切りにプリントを配布。単元終了時に未計測種目などの再計測を実施する。タブレットの活用については、動画撮影により、自身のフォームを確認し改善する。見本となる生徒や番組の視聴。保健分野調べ学習の検索、発表資料作成を行う。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	<p>体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体の動きを高める運動(2)</li> <li>・表現活動、集団行動(2)</li> </ul> <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短距離走(2)</li> <li>・リレー(2)</li> </ul> <p>器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動・鉄棒(6)</li> </ul> <p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール(4)</li> <li>・平泳ぎ(4)</li> </ul> <p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と病気の予防(5)</li> </ul>	<p>ねらいや体力に合わせて運動を組み合わせている。(思考・判断・表現)</p> <p>滑らかな動きで速く走ることができる。(知識・技能) スムーズにバトンを渡すことができる。(知識・技能)</p> <p>基本的技能を習得し、学習したものの具体例を挙げている。(知識・技能) 構成に適した組み合わせを見付けている。(思考・判断・表現)</p> <p>特性に応じた泳法を身に付け、学習したものの具体例を挙げている。(知識・技能)</p> <p>調べたことを基にそれらを説明している。(思考・判断・表現) 理解したことを表現したり、書き出したりしている。(知識・技能)</p>	<p>&lt;知識・技能&gt; 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト &lt;思考力・表現力・判断力&gt; 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト &lt;主体的に学習に取り組む態度&gt; 授業観察 提出物</p>
2 学期	<p>体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体の動きを高める運動(4)</li> </ul> <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードル走(6)</li> </ul> <p>球技(ネット型)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール(8)</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">(ゴール型)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドボール(8)</li> </ul> <p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的なリズムのダンス(7)</li> </ul> <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走(6)</li> </ul> <p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の発達と心の健康(9)</li> </ul>	<p>分担した役割を果たそうとし、役割に応じた活動の仕方身に付けている。(思考・判断・表現)</p> <p>勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとしている。(思考・判断・表現)</p> <p>基本的技能を習得し、運動の行い方のポイントを見付けている。(知識・技能)</p> <p>課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。(思考・判断・表現)</p> <p>基本的技能を習得し、ゲーム内で特性にあった動きをしている。(知識・技能)</p> <p>クラスの課題解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。(思考・判断・表現)</p> <p>リズムの特徴をとらえ全身で踊るための動きができる(知識・技能)</p> <p>コーチ役としての役割を果たしている。(思考・判断・表現)</p> <p>基本的技能を習得し、自己に適した走り方を選んでいる(知識・技能)</p> <p>調べたことを基にそれらを説明している。(思考・判断・表現) 理解したことを表現したり、書き出したりしている。(知識・技能)</p>	

<p>3学期</p>	<p>武道 ・柔道（7）</p> <p>球技（A・B・C型） ・バスケットボール（10） （ゴール型） ・ラグビー（10）</p> <p>体育理論 運動やスポーツの多様性 （3）</p>	<p>健康・安全に留意している。（思考・判断・表現） 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。また、学習したものの具体例を挙げている。（知識・技能）</p> <p>課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。（思考・判断・表現） 基本的技能を習得し、ゲーム内で特性にあった動きをしている。また、学習したものの具体例を挙げている。（知識・技能）</p> <p>理解したことについて言ったり書き出したりしている。（知識・技能） 出された意見や集めた情報をまとめている。（思考・判断・表現）</p>	<p>&lt;知識・技能&gt; 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト &lt;思考力・表現力・判断力&gt; 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト &lt;主体的に学習に取り組む態度&gt; 授業観察 提出物</p>
------------	---	--	--

令和3年度 技術科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

私たちの生活や社会の中から問題を見だし、適作な解決策の構想、課題を解決できる力を養いつつ、今年度は材料と加工に関する知識の習得と木材材料の加工、および情報に関する知識の習得と情報モラルの理解、および生物育成に関する知識の習得を行います。

2 指定教科書

技術	1年	教科書名（出版社）	技術・家庭 技術分野（開隆堂）
		副教材	ファルカタライト、キク栽培セット

3 学習到達目標

- ・材料や加工の特性等の原理・法則と材料の製造、加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。
- ・材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化し、製作の過程や結果の評価を行う。
- ・情報モラルの必要性を理解し、情報の発信、収集時に注意している。
- ・設定した課題に応じて生物の育成計画を立てる方法を理解する。
- ・作物栽培の意義や作物が成長する条件を理解する。

4 学習の進め方

○授業の進め方

教科書、パワーポイントによる授業資料を用いた講義式の授業では、1時間で1枚のワークシートを用いる。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

ワークシートに、自分の考えを記入し、課題によってはグループワークによる話し合いの時間を設ける。

他の人の考えを確認することで、自分の考えを深めていく。

○望ましい家庭学習

授業の中で提示された課題を基に、家庭生活の中での活用を考える。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、遅れを感じる生徒には必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 Google フォームをもちいた意見交換などに活用する。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	技術科オリエンテーション (1) 情報モラル (2) ・著作権 肖像権 材料と加工の技術 (9) ・材料の組織、成分、特性 ・製作のための技能	「知識・技能」 技術が社会で担う役割を理解している。 「知識・技能」 情報モラルの必要性を理解し、情報の発信、収集時に注意している。 「思考・判断・表現」 どのような行動が情報モラルに抵触するのか状況によって理解している。 「知識・技能」 木材の特徴を理解している。 正確に材料どりができる。 当確図と第三角法による正投影図の書き方を説明できる 「思考・判断・表現」 木材の特徴について自分なりに考えることができる。 材料と加工の技術での学習を振り返り、解決策を構想し、考察している。	〈知識・技能〉 作品 ワークシート 定期考査 〈思考力・表現力・判断力〉 ワークシート 〈主体的に学習に取り組む態度〉 作品 ワークシート
2 学期	材料と加工の技術 (9) ・製作のための技能 ・ 生物育成の技術 (6)	「知識・技能」 木材の組み立てと仕上げをする工具や機器の使い方を理解している。 正確に組み立てができる。 「思考・判断・表現」 組み立ての方法について問題を見出して解決策を構想し、考察している。 組み立ての学習を振り返り、解決策を構想し、考察している。 「知識・技能」 作物の特性に合わせて、効率よく安全に栽培するために必要な技術を理解している。 作物の栽培に必要な管理作業を説明できる。 設定した課題に応じて生物の育成計画と観察の仕方を理解している。 「思考・判断・表現」 栽培技術がどのように社会の問題を解決してきたか、生産者の工夫や最適化に向けた取り組みに近づくことができる。 作物の特性に合わせて、効率よく安全に栽培するために必要な課題を設定している。 設定した課題に応じて生物の育成計画と観察の仕方を振り返り、記録として表現するとともに課題の解決策を構想し、考察している。	
3 学期	材料と加工に関する技術 (3) ・製作のための技能 情報に関する技術 (5) コンピュータの構成	「知識・技能」 木材の組み立てと仕上げをする工具や機器の使い方を理解している。 正確に組み立てができる。 「思考・判断・表現」 最適な結果が得られるように自身で考えられる。 未来に向かう技術のあり方を自身で考えることができる。 「知識・技能」 情報通信ネットワークの構成や情報をやりとりする仕組みを理解している。 「思考・判断・表現」 コンピュータの主な機能と構成について問題を見いだして解決策を構想し、考察している。	

令和4年度 家庭科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付ける。

2 指定教科書

家庭科	1年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
		副教材	新 家庭科資料 新学社

3 学習到達目標

- ・食事の役割と中学生の栄養の特徴を理解する。
- ・中学生に必要な栄養を満たす食事について考えることができる。
- ・日常食の調理が適切に行え、地域の食文化について理解する。
- ・住居の機能と安全な住まい方について理解し、考えることができる。

4 学習の進め方

○授業の進め方

教科書、資料集を用いた講義式の授業では、1時間で1枚のワークシートを用いる。

○思考力・判断力・表現力

ワークシートに、自分の考えを記入した後、周りの人と話し合いをする時間を設ける。他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めていく。

○望ましい家庭学習

授業の最後に簡単な課題を提示するので、生活の中で取り組んでみる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 常備させ、授業の中で気になったことを調べさせる時間を設ける。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	ガイダンス（1）  健康と食生活（7） ・食事の役割について考える ・生活習慣と食事 ・中学生に必要な栄養素 ・食品と栄養素 ・食事の計画  食品の選択と保存（8） ・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 ・食品の選択と購入と保存 ・食品の安全と情報	〈知識・技能〉 ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・健康によい食習慣について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品や加工食品の選択について理解をしているとともに適切に選択できる。 ・食品の安全と衛生に留意した理解をしているとともに、適切に選択できる。 〈思考・判断・表現〉 ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・食品の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	〈知識・技能〉 ワークシート 定期考査  〈思考力・表現力・判断力〉 ワークシート  〈主体的に学習に取り組む態度〉 行動記録 ワークシート
2 学期	調理をしよう（10） ・調理の計画 ・調理の基本 ・肉の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理	〈知識・技能〉 ・食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解をしているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解をしているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 〈思考・判断・表現〉 ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
3 学期	住まいとはたらき（5） ・住まいの様々な役割 ・共に住まう 健康で安全な住まい（1） ・家族の健康と室内環境 ・家庭内の安全 住まいと地域（1） ・災害への備え ・災害時の住まいと暮らし ・地域に配慮した住まい方  地域の食材と食文化（2） ・地域の食材と郷土料理 ・受け継がれる食文化	〈知識・技能〉 ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わり方について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 〈思考・判断・表現〉 ・住生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・家族の安全を考えた住空間の課題について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。  〈知識・技能〉 ・地域の食文化について理解をしているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 〈思考・判断・表現〉 ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	

令和4年度 英語科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

英語を聞いたり話したりすることで、情報を伝達・共有したり、問題を解決したりする課題（タスク）を取り入れた言語活動で、「思考力・表現力・判断力」を育成し、自分のことや日常生活について、まとまりのある内容を伝え合うことができるようにする。

2 指定教科書

英語	1年	教科書名（出版社）	Here We Go! ENGLISH COURSE1（光村図書）
		副教材	エイゴラボ 1（正進社）

3 学習到達目標

- (1) 聞くこと…はっきりと話されれば、日常的な話題について、具体的な情報を聞き取ることができる。
- (2) 読むこと…日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから具体的な情報を読み取ることができる。
- (3) 話すこと〔やり取り〕…自分のことや興味のあることについて、簡単な語句や文を使って、その場で質問したり、伝え合ったりすることができる。
- (4) 話すこと〔発表〕…自分のことや興味のあることについて、簡単な語句や文を使って、まとまりのある内容を話すことができる。
- (5) 書くこと…自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にして、書くことができる。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

・教科書をベースに「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」の4技能5領域をバランスよく伸ばす活動を行う。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・学習した内容をふまえて、自己表現活動、発表活動、課題解決的な活動を行う。
- ・ペアやグループでのやり取りで学び合いの機会を設定する。
- ・外国人講師（ALT）との会話の機会を設定し、実践的なコミュニケーション能力を育成する。

○望ましい家庭学習

・復習や宿題にしっかり取り組む。特に宿題は忘れないようにする。  
 〈復習〉教科書の音読、単語の暗記、ノート作り、ワークの取り組み等。単元テストまでにノート作り、ワーク、eライブラリを完了させる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分	評定		各評定の範囲
知識・理解	1			
思考・判断・表現	1	5	特に高い程度のもの	90%以上
主体的に学習に取り組む態度	1	4	十分満足できる	80%以上
		3	おおむね満足できる	50%以上
		2	努力をようする	20%以上
		1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・単元テスト後や定期考査後に、補充学習を提示またはプリント教材を配布する。
- ・eライブラリを用いて家庭学習の取り組みを確認する。
- ・プレゼンテーション活動の際に、調べものの検索や表示したい画像の検索を行う。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	Let' s Be Friends! (10)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット、数の言い方、色や国名などの基本的な単語を理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ色が好きな友達を探すなどの目的のために、適切な表現を使って友達とやり取りをしている。</li> </ul>	<p>〈知識・技能〉</p> <p>定期考査 単元テスト 小テスト</p> <p>〈思考・判断・表現〉</p>
	Unit 1 Here We Go! (11)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I am ～. I (don' t) like ～. I can/can' t ～. の構文について正確に理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の自己紹介カードを完成させるために、その人物が自己紹介カードを作っている場面の会話から、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。</li> </ul>	<p>定期考査 単元テスト ALT との活動 会話 発表活動 ワークシート</p> <p>〈主体的に取り組む態度〉</p>
	Daily Life 1 国際郵便 (1)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外宛ての送り状の宛名や住所の書き方を正確に理解している。</li> </ul>	<p>授業中の活動 ワークシート 提出物 行動記録</p>
	Unit 2 Club Activities (11)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Are you ～? Do you ～? Can you ～? の構文について正確に理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に合う部活動を診断するために、疑問文を適切に使って好きなことや得意なことをたずね合っている。</li> </ul>	
	Unit 3 Enjoy the Summer (11)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What do you ～? の構文、動詞の-ing 形、want to ～の表現について正確に理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の夏休みの過ごし方を知るために、夏休みにしたいことについて適切な質問をしてアンケートを取っている。</li> </ul>	
	World Tour 1 世界の中学生 (1)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・How many ～? や How do you ～? の構文について正確に理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちとの共通点や相違点に気づくために、インタビューから世界の中学生の生活の様子を聞き取り、適切に理解している。</li> </ul>	
	Active Grammar 1 (2)	<p>〈知識〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・am, are や一般動詞や can を使って自分と相手のことを伝える言い方を正確に理解している。</li> </ul>	
	You Can Do It! 1 (3)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に自分のことを知ってもらうために、伝えたいことを整理して適切に自己紹介をしている。</li> </ul>	
2 学期	Unit4 Our New Friend (12)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物紹介から基本的な情報を聞き取ることができる。</li> <li>・3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who' s ～? の構文について正確に理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人について、基本的な情報を紹介することができる。</li> <li>・会話から人物の基本的な情報を聞き取り、適切にメモを取っている。</li> </ul>	

	Unit5 This is Our School (12)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・where when で始まる疑問文や命令文について正確に理解している。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。</li> <li>・お気に入りの学校内の施設について、訪ね合うことができる。</li> </ul>
	Daily Life 2 落とし物 (1)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・whose で始まる疑問文や「～のもの」という言い方について正確に理解している。</li> </ul>
	Active Grammar 2 (1)	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人称代名詞や指示代名詞の使い方を正確に理解している。</li> </ul>
	Unit 6 Cheer up, Tina (13)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文について正確に理解している。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友達に紹介するために、適切な組み立てと表現で自分の身近な人やすてきな人を紹介する文を書いている。</li> </ul>
	Active Grammar 3 (1)	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語が3人称単数のときの be 動詞と一般動詞の使い方を正確に理解している。</li> </ul>
	Daily Life 3 カフェ (2)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Can I ~?, Which ~ or ~?, How much ~?という言い方について正確に理解している。</li> </ul>
	World Tour 2 世界の時刻 (2)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What time is it?という疑問文の使い方を正確に理解している。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の各都市の時刻を確かめるために、会話から各国の時刻を聞き取り、適切に理解している。</li> </ul>
	Active Grammar 4 (1)	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞を使った疑問文とその答え方を正確に理解している。</li> </ul>
	Let's Read 1 What Am I? (1)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I を主語とした一般動詞や can を使った文の意味を正確に理解している。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What am I?の答えを知るために、説明文から“T”についての情報を読み取っている。</li> </ul>
	You Can Do It! 2 (3)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の家族関係、性格、できることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ドリームファミリー」のキャストイングを考えるために、決定済みの家族の紹介から、名前や選ばれた理由などを聞き取り、適切に理解している。</li> </ul>
3学期	Unit 7 New Year Holidays in Japan (12)	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形について正確に理解している。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想などを読み取るとともに、はがきの書き方を理解している。</li> </ul>
	Active Grammar 5 (1)	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般動詞人称と be 動詞の過去形の使い方、意味、形を正確に理解している。</li> </ul>

Daily Life 4 ウェブサイト (3)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しや写真を参考にして、ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul>	
Unit 8 Getting Ready for the Party (12)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在進行形の肯定文、疑問文と look＋形容詞について正確に理解している。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ写真について伝えるために、その場の状況を説明する写真のキャプションを適切な表現を使って書いている。</li> </ul>	
Active Grammar 6 (1)	<p>〈知識〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在進行形の使い方、意味、形、現在形との使い方の違いについて正確に理解している。</li> </ul>	
Daily Life 5 ラジオの中継 (1)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオの中継を聞いて、どこから何をリポートしているか聞き取ることができる。</li> </ul>	
Let' s Read 2 The Lion and the Mouse (4)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を楽しむために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、あらすじをつかんでいる。</li> </ul>	
You Can Do It! 3 (3)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学校行事について、自分たちがしたことやすることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学校と同じところや違うところを見つけるために、学校行事のウェブサイトから情報を読み取っている。</li> </ul>	
Let' s Read More My Japanese Lessons (4)	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートを読んで内容を理解することができる。</li> </ul> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Tina が日本語について感じていることを知るために、日本語と英語の違いなどについて書かれたレポートの概要や要点を捉えている。</li> </ul>	